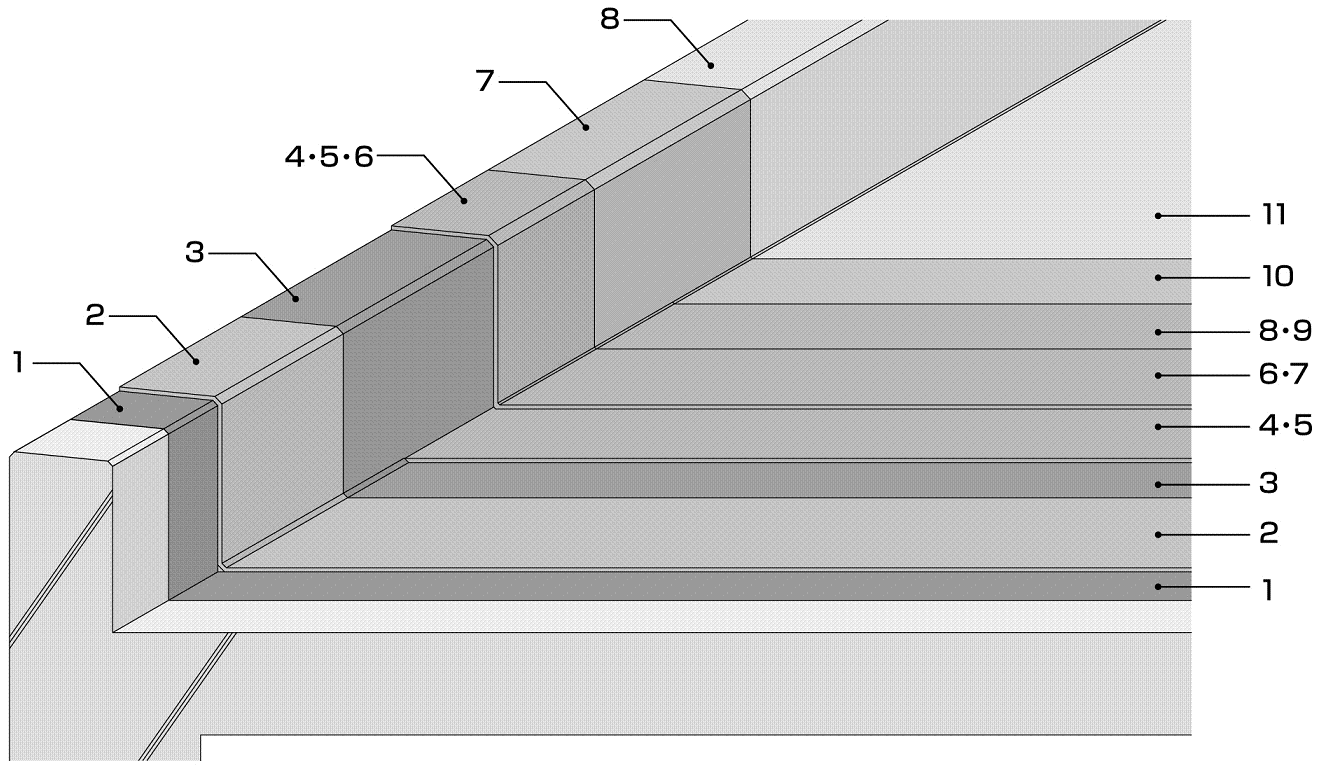
ＵＰＶ－ＳＥ工法

【施工要領書】

シーカ・ジャパン株式会社

**施工仕様**



平場：ＵＰＶ－ＳＥ工法（密着工法）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ駐車場用  ＋ＰＷ－Ｆ硬化促進剤  ＋普通セメント（重量比２５％添加） | ０.１５㎏～ |
| ２ | エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ駐車場  ＋Ｚｅｒｏ－１専用促進剤 | １.３㎏ |
| ３ | ＣＴプライマー＋セメント | ０.２㎏ |
| ４ | ガラスマット＃３８０ | ０.４kg |
| ５ | ＣＴ－１００Ｒ | １.２㎏ |
| ６ | ガラスマット＃３８０ | ０.４kg |
| ７ | ＣＴ－１００Ｒ | １.２㎏ |
| ８ | ＣＴ－３０００ＪＳ | ０.３㎏ |
| ９ | パワークロンＧ３号 | ０.５㎏～ |
| １０ | ＣＴ－２５００ | ０.５㎏ |
| １１ | ＳＱトップ または ＳＱトップ・ゼロ | ０.２５㎏～ |

立上り：ＵＰＶ－ＳＥ立上り工法（密着工法）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ駐車場用  ＋ＰＷ－Ｆ硬化促進剤  ＋普通セメント（重量比２５％添加） | ０.１５㎏～ |
| ２ | エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ駐車場立上り用  ＋Ｚｅｒｏ－１専用促進 | ０.５㎏ |
| ３ | ＣＴプライマー＋セメント | ０.２㎏ |
| ４ | ＣＴ－１００Ｒ | ０.５㎏ |
| ５ | ガラスマット＃３８０ | ０.４kg |
| ６ | ＣＴ－１００Ｒ | ０.７㎏ |
| ７ | ＣＴ－２５００ | ０.４㎏ |
| ８ | ＳＱトップ または ＳＱトップ・ゼロ | ０.２㎏～ |

**使用材料一覧**

| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| --- | --- | --- | --- |
| プライマーＰＷ－Ｆ  駐車場用 | １２㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝１：１ | ２成分形エポキシ樹脂プライマー（溶剤系） |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　６㎏／缶 |
| 普通セメント | ２５ｋｇ／袋 | － | 普通ポルトランドセメント |
| ＰＷ－Ｆ硬化促進剤 | １ｋｇ／缶 | － | 硬化促進剤 |
| エバーコート  Ｚｅｒｏ－１ Ｈ駐車場 | １８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン防水材 |
| エバーコート  Ｚｅｒｏ－１ Ｈ駐車場 立上り用 | １８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン防水材  立上り用 |
| Ｚｅｒｏ－１ Ｈ専用促進剤  Ｃタイプ | ３．３ｋｇ／ポリ瓶 | １．３～  ２.０％ | １成分形ウレタン防水材  専用促進剤 |
| Ｚｅｒｏ－１ Ｈ専用促進剤  速硬化タイプ | ３．３ｋｇ／ポリ瓶 | １．５～  ３.０％ | １成分形ウレタン防水材  専用促進剤 |
| ＣＴプライマー | １６㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂  プライマー（溶剤系） |
| ＣＴ－１００Ｒ | １８㎏／缶 | ― | １成分形ポリエステル樹脂（溶剤系） |
| パーメックＮＲ(Ｋ)０４ | ５㎏／缶 | ＣＴ―１００Ｒ・ＣＴ－２５００等に対し０.８～２.０％量添加 | ＦＲＰ樹脂硬化開始剤 |
| ガラスマット＃３８０  （両耳） | １.０m×７６m／巻 | － | ＦＲＰ積層用ガラス繊維 |
| ＣＴ－３０００ＪＳ | １８㎏／缶 | － | 耐食用ビニルエステル樹脂（溶剤系） |
| ＣＴ－２５００ | １６㎏／缶 | － | 耐食用ビニルエステル  カラー樹脂（溶剤系） |
| パワークロンＧ３号 | ２５㎏／袋 | － | 粗面仕上げ骨材 |
| ＳＱトップ | １５㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート  （溶剤系）速乾タイプ |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　９㎏／缶 |
| ＳＱトップ・ゼロ | １５㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート  （弱溶剤系）速乾タイプ |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　９㎏／缶 |

**施工の流れ**

|  |  |
| --- | --- |
| 平場面：ＵＰＶ－ＳＥ工法 | 立上り面：ＵＰＶ－ＳＥ立上り工法 |
|  |  |
| 下地確認・下地清掃 | |
|  |  |
| プライマーＰＷ－Ｆ駐車場用＋ＰＷ－Ｆ硬化促進剤  ＋普通セメント（重量比２５％添加）塗布 | |
|  |  |
|  | エバーコートＺｅｒｏ－１ Ｈ駐車場  立上り用塗布 |
|  |  |
| エバーコートＺｅｒｏ－１ Ｈ駐車場  塗布 |  |
|  |  |
|  | ＣＴプライマー＋セメント塗布 |
|  |  |
| ＣＴプライマー＋セメント塗布 |  |
|  |  |
|  | ＣＴ－１００Ｒ塗布  ガラスマット＃３８０張り  ＣＴ－１００Ｒ塗布 |
|  |  |
| ＦＲＰ層施工（１層目）  ガラスマット＃３８０仮敷き  ＣＴ－１００Ｒ塗布 |  |
|  |  |
| ＦＲＰ層施工（２層目）  ガラスマット＃３８０仮敷き  ＣＴ－１００Ｒ塗布 |  |
|  |  |
| ＣＴ－３０００ＪＳ塗布  パワークロンＧ３号散布 |  |
|  |  |
|  | ＣＴ－２５００塗布 |
|  |  |
| ＣＴ－２５００塗布 |  |
|  |  |
| ＳＱトップ または ＳＱトップ・ゼロ塗布 | |

**施工要領**

**平場**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ駐車場用＋ＰＷ－Ｆ硬化促進剤＋普通セメント（重量比  ２５％添加）塗布 |
| 下地処理確認後、良く清掃する。プライマーＰＷ－Ｆ駐車場用の硬化剤にＰＷ－Ｆ硬化促進剤を添加して混合撹拌後に、プライマーＰＷ－Ｆ駐車場用の主剤を  添加して混合撹拌する。その後、普通セメントを重量比で２５％添加して混合  撹拌して、ローラー等の工具で０.１５㎏／㎡以上を均一に塗布する。 |
| ２ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ駐車場＋Ｚｅｒｏ－１専用促進剤塗布 |
| エバーコートＺｅｒｏ－１ Ｈ 駐車場にＺｅｒｏ－１専用促進剤を添加して  混合撹拌後に、コテ等の工具を用いて１．３㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ３ | ＣＴプライマー＋セメント塗布 |
| ＣＴプライマーを重量割合で５０％量（冬場は１０％量）のポルトランドセメントを添加撹拌したものをローラー等の工具で０.２㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ４  ５ | ＦＲＰ層施工（１層目） |
| ガラスマット＃３８０を平場面に置き敷きする。ガラスマット＃３８０のラップ幅は５０㎜以上とする。  ＣＴ－１００ＲにパーメックＮＲ(Ｋ)０４規定量を添加攪拌し、ローラー等の工具で１.２㎏／㎡を均一に塗布する。  脱泡ローラーにて脱泡する。 |
| ６  ７ | ＦＲＰ層施工（２層目） |
| ガラスマット＃３８０を平場面に置き敷きする。ガラスマット＃３８０のラップ幅は５０㎜以上とする。  ＣＴ－１００ＲにパーメックＮＲ(Ｋ)０４規定量を添加攪拌し、ローラー等の工具で１.２㎏／㎡を均一に塗布する。  脱泡ローラーにて脱泡する。 |
| ８  ９ | パワークロンＧ３号散布 |
| ＣＴ－３０００ＪＳに規定量のパーメックＮＲ(Ｋ)０４を添加攪拌し、  ローラー等の工具で０.３㎏／㎡を均一に塗布する。  塗布直後、ＣＴ－３０００ＪＳが硬化する前にパワークロンＧ３号を０.５㎏／㎡以上を均一に散布する。  ＣＴ－３０００ＪＳ硬化後、ブロワー等を使用して未接着の骨材を除去する。 |
| １０ | ＣＴ－２５００塗布 |
| ＣＴ－２５００に規定量のパーメックＮＲ(Ｋ)０４を添加攪拌し、ローラー等の工具で０.５㎏／㎡を均一に塗布する。 |
|  | ＳＱトップまたはＳＱトップ・ゼロ塗布 |
| 主剤・硬化剤からなるＳＱトップまたはＳＱトップ・ゼロを規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で０.２５㎏／㎡以上を均一にムラ無く塗布する。 |
| １２ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

※パーメックＮＲ(Ｋ)０４を添加した樹脂は発熱するので注意する。廃棄する場合は注水して冷却し、温度が下がったことを確認する。

**立上り**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ駐車場用＋ＰＷ－Ｆ硬化促進剤＋普通セメント（重量比  ２５％添加）塗布 |
| 下地処理確認後、良く清掃する。プライマーＰＷ－Ｆ駐車場用の硬化剤にＰＷ－Ｆ硬化促進剤を添加して混合撹拌後に、プライマーＰＷ－Ｆ駐車場用の主剤を  添加して混合撹拌する。その後、普通セメントを重量比で２５％添加して混合  撹拌して、ローラー等の工具で０.１５㎏／㎡以上を均一に塗布する。 |
| ２ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ駐車場立上り用＋Ｚｅｒｏ－１専用促進剤塗布 |
| エバーコートＺｅｒｏ－１ Ｈ 駐車場立上り用にＺｅｒｏ－１専用促進剤を  添加して混合撹拌後に、コテ等の工具を用いて０．５㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ３ | ＣＴプライマー＋セメント塗布 |
| ＣＴプライマーを重量割合で５０％量（冬場は１０％量）のポルトランドセメントを添加撹拌したものをローラー等の工具で０.２㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ４  ５  ６ | ＦＲＰ層施工 |
| ＣＴ－１００Ｒに規定量のパーメックを添加攪拌し、０.５㎏／㎡を均一に塗布  する。ＣＴ－１００Ｒが硬化する前に、直ちにガラスマット＃３８０を張付ける。  ガラスマット＃３８０のラップ幅は５０㎜以上とし、また平場面に４０～５０㎜以上ラップさせる。  ガラスマット＃３８０張付け後、直ちに規定量のパーメックＮＲ(Ｋ)０４を添加攪拌したＣＴ－１００Ｒをガラスマット＃３８０上に０.７㎏／㎡を均一に塗布  する。  脱泡ローラーにて脱泡する。 |
| ７ | ＣＴ－２５００塗布 |
| ＣＴ－２５００に規定量のパーメックＮＲ(Ｋ)０４を添加攪拌し、ローラー等の工具で０.４㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ８ | ＳＱトップまたはＳＱトップ・ゼロ塗布 |
| 主剤・硬化剤からなるＳＱトップまたはＳＱトップ・ゼロを規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で０.２㎏／㎡以上を均一にムラ無く塗布する。 |
| ９ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

※パーメックＮＲ(Ｋ)０４を添加した樹脂は発熱するので注意する。廃棄する場合は注水して冷却し、温度が下がったことを確認する。

|  |
| --- |
| 免責事項  ここに記載された情報およびその他の助言は、シーカの推奨する通常の条件下で適切に保管、取扱および適用された場合の製品に関するシーカの現在の知識と経験に基づいて誠実に提供されるものです。本情報は、本書で明示的に言及されている用途および製品にのみ適用されます。基材の変更など、用途のパラメータが変更された場合、または別の用途に使用する場合は、シーカ製品を使用する前にシーカの技術サービスにご相談ください。本書に記載されている情報は、製品の使用者が意図された用途や目的に対して製品をテストすることを免除するものではありません。すべての注文は、当社の現行の販売および納品条件に従って受理されます。ユーザーは、常に該当する製品の最新版の製品データシート又は製品カタログを参照する必要があり、そのコピーはリクエストに応じて提供されます。 |